

### 栄光・表彰 ～輝くとき

各分野で活躍された皆さまをご紹介します (敬称略)

#### 令和8年度東日本選抜ソフトテニス大会秋田県予選会



写真左から武藤文之介さん、江橋樹さん

- ▶男子一部ダブルスの部 第3位 江橋・伊藤ペア
- ▶男子二部ダブルスの部 第1位 武藤・三浦ペア

5月16日に「令和8年度東日本選抜ソフトテニス大会秋田県予選会」が大館市において行われ、男子一部ダブルスの部で仙北市ソフトテニスジュニア所属の江橋樹選手(西明寺小5年)が第3位に入賞しました。この結果、江橋選手は7月11日から宮城県で開催される第16回東日本小学生選抜ソフトテニス大会に、秋田県代表チームの一員として出場することが決定しました。大会では個人戦および団体戦に出場します。

また、4年生以下で競われる男子二部ダブルスの部では、武藤文之介選手(神代小3年)が優勝しました。

#### 第72回秋田県高等学校総合体育大会ソフトテニス

- ▶女子個人 優勝 小室・澤山ペア

6月6日から8日まで、全県高校総体のソフトテニスが県立中央公園テニスコートで行われ、女子の個人で令和高校3年の小室・澤山(澤山こころ:西明寺中学校出身)ペアが優勝し、東北大会とインターハイへの切符を手にしました。

東北大会は6月20日から岩手県で、インターハイは7月31日から京都府で開催されます。今後の更なる活躍が期待されます。



写真左から小室柚菜さん、澤山こころさん

## 規制改革で拓く地方創生

～国家戦略特区推進センター新設を申請～

仙北市は、国の「国家戦略特別区域」に指定されており、規制や制度の見直しを通じて地方創生に取り組んでいます。5月27日に、津島淳内閣府副大臣などが出席する国家戦略特別区域会議に、田口市長がオンラインで出席しました。会議では、仙北市から区域計画の変更を申請しました。近年、ドローンなどの近未来技術が実用段階に入り、実証実験への支援ニーズが減る一方で、特区制度を使った規制・制度改革に係る相談が増えています。こうした状況をふまえ、令和8年度中に「仙北市近未来技術実証ワンストップセンター」を発展的に解消し、特区制度全般の相談に一元的に対応する「仙北市国家戦略特区推進センター」を新たに設置する予定です。

新センターの設置をはじめ、地方創生につながる規制・制度の見直しに引き続き取り組んでいきます。会議の詳細や仙北市の特区の取組は、右に記載の二次元コードからご覧いただけます。



オンラインで会議に出席する田口市長



内閣府国家戦略特区ホームページ



仙北市ホームページ

## 仙北市出身の力士 かぜおうき 風桜輝さん 市長表敬訪問

### 幕下入りを目指し決意新たに

仙北市出身の力士・風桜輝さんがこのたび、仙北市役所田沢湖庁舎を訪れ、市長を表敬訪問しました。現在16歳の風桜輝さんは、所属する部屋での生活や日々の稽古の様子について紹介したほか、仙北市での思い出やふるさとの魅力などについても和やかに歓談しました。

また、「18歳までに幕下に上がり、その後は親方を超えられる力士になりたい」と今後の目標を力強く語りました。

市長からは「仙北市出身の力士として、多くの市民が応援しています。けがに気をつけて頑張ってください」と激励の言葉が送られ、終始和やかな雰囲気の中での表敬訪問となりました。



風桜輝さんの今後の活躍を、仙北市から応援しましょう。



### 【風桜輝さんのプロフィール】

所属部屋：押尾川  
初土俵：令和七年三月場所  
出身地：仙北市角館町

## 新しい社会教育委員 を紹介します

今年度、新たに1名の方に委嘱状の交付が行われ、仙北市社会教育委員は15名となりました。

社会教育委員からは、教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関する諸計画の立案や評価、社会教育に関するさまざまな助言をいただいています。

- 社会教育委員/荒木 和子 さん
- 任期/令和8年4月1日～令和10年2月19日



善意ありがとうございます

### 角館ロータリークラブから 角館小学校に寄付金

6月17日、角館ロータリークラブ(宮下進司会長)から、角館小学校の通級指導教室事業に役立ててほしいと寄付金が贈られました。同クラブによる寄付は今回で51回目で、宮下会長は「子どもたちのために役立ててほしい」と話し、福田校長は「児童1人ひとりに合わせた本や教材の購入に活用させていただきたい」と感謝を述べました。

※役職は贈呈式当時(6月17日)のものです。



写真左から宮下会長、福田校長

## 未来に残そう 角館のサクラ

～ 桜木内川堤のサクラに春の施肥作業（お礼肥え）～

桜木内川堤のソメイヨシノは植樹から90年以上が経過し、次の世代へその美しさを引き継ぐためには適切な管理が必要となっています。角館中学校では、桜の樹勢を保つため毎年施肥作業を続けており、今年で39回目を迎えました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、生徒たちは協力しながら一本一本の桜に丁寧に肥料を施しました。作業に参加した鈴木瑚心（ここ）さんは、「長く受け継がれている

施肥作業に参加できてうれしかったです。これからもこの活動が続き、きれいな角館の桜が咲き続けてほしいです」と話していました。

また、5月31日には「未来へつなぐ角館のサクラ保全活動（お礼肥え）」が行われ、市内外から約40人が参加しました。参加者は桜の根元一つひとつに丁寧に肥料を施し、来春も美しい花を咲かせることを願いながら作業に汗を流しました。

地域の宝である角館のサクラを次世代へつなぐ取り組みは、多くの人々の協力によって支えられています。今後もこうした活動を通じて、桜の名所を守り育てていきます。



桜の未来を願いながら作業する鈴木瑚心さん



桜の根元に丁寧に肥料を施す参加者

## 花の名山に笑顔咲く

～ 秋田駒ヶ岳の山開き～

1日、秋田駒ヶ岳の山開きが行われ、秋田県と岩手県から約200人の登山愛好者が参加しました。八合目で神事と式典が行われ、関係者がシーズン中の安全を祈願。その後、参加者はチングルマやヒナザクラ、ミヤマキンバイなどの高山植物や、残雪が残る山々の景色を楽しみながら山頂を目指しました。

男岳山頂では、岩手県側から登った参加者とともに万歳三唱を行い、夏山シーズンの幕開けを祝福。また、仙北市南八幡平山岳会の畠山靖事務局長と雫石町山岳協会の所博幸副会長による恒例のピッケル交換が行われ、両県の交流と登山者の安全を願いました。山頂からは田沢湖をはじめ、鳥海山や森吉山、岩手山などを望むことができ、参加者は秋田駒ヶ岳ならではの雄大な自然を満喫しました。

参加者からは秋田駒ヶ岳の豊かな自然や山頂からの眺望に感動する声が聞かれ、シーズンの幕開けを祝う笑顔があふれていました。



山開き恒例のピッケル交換



夏山シーズンの幕開けを祝う万歳三唱



残雪が残る登山道を進む登山者

## ルールを守って安全運転

～ 角館高等学校を自転車安全利用モデル校に指定～

秋田県立角館高等学校は秋田県警察から「自転車安全利用モデル校」に指定され、5月22日、秋田県仙北警察署の協力のもと、指定書交付式と交通安全講話が行われました。交付式では、佐藤仙北警察署長から指定書が手渡され、生徒会長の鈴木亜緒依さんが交通ルールの遵守と安全運転を力強く宣誓しました。講話では、警察署員による説明

を受けながら、運転者目線の映像を使った危険予測シミュレーターを体験し、事故につながる場面や危険回避の大切さを学習しました。また、自転車のながら運転体験も行われ、生徒たちは通常走行との違いを体感しながら、自転車事故の危険性や交通ルールを守る重要性について理解を深め、安全意識を高めていました。



自転車安全利用モデル校の指定書交付



ながら運転と正しい運転の違いを体験している生徒

## 笑顔あふれるスポーツ交流

～ 春のスポーツ体験教室～



5月23日、大曲支援学校せんぼく校の体育館を会場に「春のスポーツ体験教室」が開催されました。

せんぼく校の同窓生が交流を深める「せんぼく桜スクール」の皆さんや、指定障がい福祉サービス事業所・愛仙の利用者、地域の方など、関係者を含め約80人が参加しました。

フットサルでは、チームで協力しながらボールを追いかけ、eスポーツではリズムに合わせて真剣な表情で太鼓をたたき姿が見られました。会場には笑顔があふれ、参加者同士の親睦を深める機会となりました。



田沢湖図書館

☎ 43-1307

### イベント情報

【イベント情報 オリジナルナチュラルフレグランス講座】

ご好評につき、追加開催決定！  
この機会にぜひご参加ください。

- 日時 7月11日(土) 14時～16時
- 講師 アロマ草花木香 高山純子さん
- 会場 田沢湖図書館 2階
- 材料費 1,500円
- 定員 8名 (定員になり次第締切)



### 《7月のテーマ展示》

「課題図書 2026」  
青少年読書感想文コンクールの  
課題図書を展示します。  
書き方のヒントになる本も！



ぐずったらどうしよう、  
なんて気にしないで大丈夫な時間  
**7月とことろタイム**  
毎週土曜日 9:00～12:00

おとなもどうぞ！  
**おはなし玉手箱**  
※入場無料  
18日(土) 10:00～

7月の休館日 6日(月)、13日(月)、20日(月・祝)、21日(火・振替休館)、27日(月)、31日(金・整理休館)

フォロー  
お願いします！  
Instagram



### 新着図書を紹介します

- ▶雨が降ったら《寺地はるな》
  - ▶氷河期のゴミ《榎木理宇》
  - ▶多類婚姻譚《岨良ゆう》
  - ▶横浜協同租界《佐々木譲》
  - ▶半永久の花束《真紀涼介》
  - ▶逆転監督 森保一《木崎伸也》
  - ▶さまようクマ、変わる森《小池伸介》
  - ▶こわくない目の手術《浅見哲》
  - ▶おいしい道の駅ドライブ 2026 —東北—《昭文社》
  - ▶かぎ針で編む編み針収納ケース《アップルミンツ》
  - ▶5秒でわかるカタカナ語図鑑《Gakken》
  - ▶でしりすいぞくかん《コンドウアキ》
- このほかたくさんのお新刊が入っています。



「走れ、無印の馬」  
《谷川直子》  
河出書房新社



「一汁三菜のおぼんのおぼん」  
《しらいやすこ》  
新星出版社

## 咲かせて(結)ぼう地域の輪

～地域学校協働本部事業・花いっぱい運動推進事業～

6月2日、西明寺小学校、西明寺中学校、学校協働活動推進員などの約140人が参加し、花いっぱい運動推進事業「咲かせて結ぼう地域の輪」が行われました。参加者は国道105号沿いでマリーゴールドの植栽作業を行い、地域に彩りを添えました。

花の植栽が始まったのは昭和30年代です。地域の皆さんによる活動が長年続けられ、「日本一のフラワーロード」と呼ばれるまでになりました。その後、活動は一時途絶えましたが、2023年から西明寺中学校の生徒がマリーゴールドの植栽を行っています。今年も西明寺小学校の5・6年生の児童や地域の皆さんも加わり、地域ぐるみの活動として再び花を植えました。

活動に参加した西明寺中学校3年の澤山心咲(みさき)さんは、「小学校のみんなと一緒に地域のために花を植えることができて良かったです。花がきれいに咲き、登校する児童生徒や通行する人々たちを笑顔にしてくれたらうれしいです。」と話してくれました。

地域に受け継がれてきたフラワーロードの伝統は、来年度以降、西明寺小学校を中心に引き継がれていく予定です。



## 秋の絶景を目指して

～「秋田内陸線田んぼアート」神代小学校～

6月3日、神代小学校の5年生が、農業体験をかねて、内陸線沿線で田植えに参加しました。これは、小松・東前郷地区環境保全協議会が、内陸線を応援して毎年行っている事業です。ここで採れたあきたこまち、支援米として被災地や子ども食堂、ボランティア団体などに提供されています。

児童たちは、田んぼアートの図柄を描くため、6種類の色の異なる苗を使用し、決められた場所に1本1本丁寧に植えていきました。泥に足を取られながらも協力して作業を進め、田んぼにはにぎやかな声が響いていました。

参加した児童からは、「石が痛かったけど、楽しかった」「秋になるのが楽しみ」などの声が聞かれました。

今年の田んぼアートは、江戸時代の浮世絵師・東洲斎写楽の役者絵をモチーフに制作されており、7月初めから徐々に姿を現し、稲穂が色づく秋に見頃を迎えます。

場所：田沢湖小松字野中(内陸線沿線)



学習資料館

☎ 43-3333

### 《7月のテーマ展示》

「海の日」

～海を知って、感じて、楽しもう！  
7月20日は海の日～

「こわい本、そろってます」

～夏の暑さを吹き飛ばす、  
ぞくぞくする本集めました！



### 新しい雑誌が仲間入り！

『家の光』(家の光協会)

6月号から閲覧できます。  
そのほかにも50冊以上の雑誌を取り揃えています！

### おはなしがいうさぎのみみ

7月4日 10:00～1時間程度

大型紙芝居 「へったれよめ」 エアロンシアター 「ジャックと豆の木」

みんなでぬり絵をしましょう！

7月の休館日 6日(月)、13日(月)、20日(月・祝)、27日(月)、31日(金・整理休館)

スマホで簡単  
蔵書検索



### 新潮社から寄贈された図書を紹介します

- ▶掌より愛をこめて—阿刀田高さいごの小説集—《阿刀田高/著》
  - ▶津田日記《津田篤宏/著》
  - ▶みるみる自走する！子育てはリアクションが9割《大森治幸/著 大森陽生/著》
  - ▶ジュビリー《アリス・マンロー/著、小竹由美子/訳》
  - ▶みんな、好きが下手《小林早代子/著》
  - ▶特捜取調室—『国家の民』20年目の再対決—《佐藤優/著、西村尚芳/著》
- ほかにもたくさんのお新刊が入っています。



「湾」《宮本輝/著》



「モナリザの裏側」  
《一色さゆり/著》